

甲佐町議会だより

第145号



清流

平成25年5月15日
発行 甲佐町議会
発行責任者 議長 本田 新

3月定例会



消防点検一斉放水（3月31日）

規約案件・条例案件	②
工事請負契約の変更・平成24年度一般会計、 及び特別会計補正予算・人事案件	③
平成25年度一般会計及び特別会計予算	④
論点Q & A そこが知りたい	⑤
一般質問4人ここが聞きたい	⑥～⑨
第1回臨時会、傍聴席から一言	⑩

3月定例会

3月定例会は、8日に開会し、13日まで6日間の審議を行った。
 案件は、人事案件1件、規約案件1件、条例案件16件、平成24年度甲佐町一般会計及び特別会計補正予算、平成25年度甲佐町一般会計及び特別会計予算、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。
 なお、一般質問には、4人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

○可決された議案の主な内容は次のとおり。

議案第1号

■熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について

袴野小学校の廃校と川辺川総合土地改良組合の解散に伴う規約の一部変更

議案第2号

■甲佐町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

新型インフルエンザ等対策特別措置法第37条で準用する同法26条の規定による条例の制定

議案第3号

■甲佐町指定地域密着型サービス事業者の指定に関する条例の制定

■甲佐町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

議案第4号

■甲佐町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに子弟地域密着型介護予防サービスに係わる介護予防の為の効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

議案第5号

■甲佐町指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に關し必要な事項を定める条例の制定

■介護サービスの基盤強化の為の介護保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例の制定

議案第6号

■甲佐町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに子弟地域密着型介護予防サービスに係わる介護予防の為の効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

議案第6号

■甲佐町道の構造の技術的基準を定める条例の制定

議案第7号

■甲佐町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定

議案第8号

■甲佐町準河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定

議案第9号

■甲佐町管住宅等の整備基準を定める条例の制定

議案第10号

■甲佐町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

労働基準法の対象となる地方公務員に対する給与額の算出に関する条例の一部改正

議案第11号

■財産の交換、譲与、無償貸与等に関する条例の一部改正について

地域主権改革一括法による地方公共団体の財産の健全化に関する法律の一部改正に伴い、国に対する譲与等の制限がなくなる為による条例改正

議案第12号

■甲佐町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について

障害者自立支援法及び児童福祉法の一部改正に伴う条例の一部改正

議案第13号

■甲佐町一般廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正に伴う条例の一部改正

議案第14号

■甲佐町水道水源保全条例の一部改正について

熊本県地下水保全条例の一部改正に伴う条例の一部改正

議案第15号

■甲佐町上水道給水条例の一部改正について

地域主権改革一括法の一部改正に伴い、水道布設工事監督者の配置・資格基準及び水道技術管理者の資格基準が地方公共団体の定める条例に委任された為の条例改正

議案第16号

■甲佐町町営住宅管理条例の一部改正について

地域主権改革一括法による公営住宅法の一部改正に伴い、町営住宅入居者の同居の承認に関する収入基準の一部を改正

議案第17号

■甲佐町公民館条例の一部改正について

地域主権改革一括法の一部改正に伴い、公民館運営審議会の委員の委嘱基準が市町村条例に委任された為の条例改正

議案第18号

■工事請負契約の変更に
ついて

甲佐中学校校舎改築工事において、608万3435円を増額し、14億1213万8435円とする契約変更

議案第19号

■平成24年度甲佐町一般会計補正予算(第5号)

3億3811万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、71億8225万1000円とする補正

○道路新設改良費

1億9980万
7000円増

○学校建設費

1億4887万
2000円増

議案第20号

■平成24年度甲佐町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

特別会計
103万7000円を追加し、歳入歳出の総額を歳入歳出それぞれ19億2851万2000円とする補正

議案第21号

■平成24年度甲佐町介護保険特別会計補正予算(第2号)

5088万2000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億981万8000円とする補正

議案第22号

■平成24年度甲佐町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

88万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億3286万9000円とする補正

議案第23号

■平成25年度甲佐町一般会計予算

■平成25年度甲佐町国民健康保険特別会計予算

議案第24号

■平成25年度甲佐町介護保険特別会計予算

議案第26号

■平成25年度甲佐町後期高齢者医療特別会計予算

■平成25年度甲佐町水道事業特別会計予算

追加上程議案

■財産処分について

社会福祉法人銀杏福祉会に売却した物件について、地方自治法第96条第1項第6号の規定により、議会の議決が必要となったことにより追加上程。

賛成 10
反対 1



固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員として、新たに甲佐町有安204番地の本田裕子氏が選任され、全会一致で同意した。



(本田裕子氏)

※地域主権改革一括法

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」国が今まで決めていた各種基準のいくつかを、自治体が条例の制定等により、自ら決定して実施するよう関係する法律を一括で改正したもの。

平成25年度

一般会計予算

(単位：万円)

歳入	25年度	24年度	前年度からの伸び率
町税	80,299	82,273	△ 2.4
地方譲与税	6,100	6,500	△ 6.2
利子割交付金など	12,850	13,060	△ 1.6
地方交付税	210,000	206,000	1.9
分担金及び負担金	10,623	9,224	15.2
使用料及び手数料	3,781	3,867	△ 2.2
国庫支出金	88,314	106,082	△ 16.7
県支出金	43,050	38,287	12.4
財産収入など	648	830	△ 21.9
繰入金	34,014	49,167	△ 30.8
繰越金	5,000	5,000	0.0
諸収入	1,878	2,124	△ 11.6
町債	94,160	118,040	△ 20.2
計	590,717	640,454	△ 7.8

(単位：万円)

歳出	25年度	24年度	前年度からの伸び率
議会費	8,459	8,634	△ 2.0
総務費	75,422	70,554	6.9
民生費	171,562	156,177	9.9
衛生費	58,572	55,222	6.1
農林水産業費	17,692	19,420	△ 8.9
商工費	2,973	3,374	△ 11.9
土木費	54,816	74,331	△ 26.3
消防費	25,710	25,877	△ 0.6
教育費	93,062	142,493	△ 34.7
公債費	81,449	83,372	△ 2.3
予備費	1,000	1,000	0.0
計	590,717	640,454	△ 7.8

一般会計当初予算

平成25年度一般会計予算は、59億717万3000円で、前年よりマイナスの7.8%、4億9737万2000円の減となった。

主な要因は、国の経済対策に伴うもので、平成24年度分として、道路新設改良事業・学校建設等が行えるため、土木費と教育費等を減額する予算を、賛成9反対1不在1で可決した。

反対討論

井芹しま子議員

一般会計予算については、同和対策予算が組まれており、見直して町民全体の暮らしに向けるべきと思うので反対する。

賛成討論

本郷昭宣議員

各課で十分検討され、住民の方の要望も取り入れられた予算であると考え賛成する。

特別会計当初予算

○国民健康保険特別会計
前年より、7338万2000円増の総額1億5272万8000円とする予算を、全会一致で可決した。

○介護保険特別会計

前年より、8208万7000円増の総額12億8388万5000円とする予算を、賛成10反対1で可決した。

○後期高齢者医療特別会計

前年より、298万7000円増の総額1億3497万3000円とする予算を、賛成10反対1で可決した。

○水道事業会計

収益的収入及び支出の総額を1億3649万4000円とする予算を、全会一致で可決した。

そこが知りたい Q&A

12月定例会 質疑より

町営バス購入と利用者数および運賃収入の説明を

Q 町営バスの買い替え計画が予定されているが、更新は何年毎に買い替えるのか。また利用者数および運賃収入はどうなっているか。

A 町営バスの更新期間は定めていないが、現在のバスは7年を経過しており、走行距離も50万キロメートルとなっているので、25年度に現在のバスと同程度の車両の買い替えを計画している。

利用者数および運賃収入については、23年度実績では利用者数は7946名、運賃収入は146万4500円となっている。



買い替えが予定されている町営バス

育成医療給付事業とは

Q 育成医療給付事業とは障害者として認定を受けなければ該当しないのか。

A 育成医療につきましても、18歳未満の児童で身体上の障害のある方、または現存する疾患を放置すると将来障害を残す方で確実な治療効果が期

待し得るものに対して、指定医療機関で受ける医療費を助成するものである。

ただし、障害者手帳がない方は指定医療機関の医師の診断がなければ対象者とならない。

この事業は平成25年度より県より町に事務が移譲された。

自主防災組織の設立状況は

Q 自主防災組織促進事業補助金が減額されているが理由と、今後の設立促進についての考えは。

A 24年度において10組織を予定していたが6組織の設立希望しかなかった。

23年度に10組織、24年度に6組織が設立され、現在は16組織、組織率は45%である。

27年度末は80%までもって行きたい。

将来的には100%が目標である。

甲佐中学校の体育館、プール等の工事の時期は

Q 現在甲佐中学校の改築工事が進められているが、すでに管理棟および校舎は完成している。

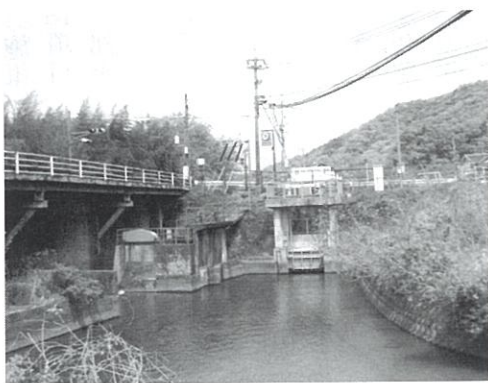
体育館やプール、旧校舎等の解体工事は生徒の授業に支障がないように進められると思うがどうか。

A 解体工事等は騒音等も発生しますので、生徒の授業に支障がないように工事を進めたい。プールについては夏場に使用しますので、使用時期が終わってから解体工事を行い、その後の建設となる。

糸田堰土地改良区の松ヶ崎ゲート改修とは

Q 糸田堰土地改良区の松ヶ崎ゲートの改修工事が計画されているが内容説明を。

A 国の経済対策事業を利用して、松ヶ崎ゲートの改修を行う事業である。負担割合は国が50%、県が15%、町が30%、土地改良区が5%である。町の負担30%の内訳は、甲佐町が39・2%、御船町が30・8%、嘉島町が30%を負担する。



改修される松ヶ崎ゲート

一般質問と答弁 ここが聞きたい

宮川 安明 議員



農業問題について

議員

人・農地プランの新規就農者の対策と今の状況を聞きたい。

産業振興課長

新規就農者に対し、青年就農給付金ということ、45歳未満の方を対象に年間150万円、最長5年の支援がある。平成24年度の状況は、3名が対象者である。

議員

就農者の不足を解消するための対策と思うが、定年を迎えられた方を活用されてはどうか。

産業振興課長

定年される方の活用については、各集落や各組織を円滑に運営していくうえで非常に必要と考える。

今後どのような支援策や体制づくりが有効な手段となるか検討していきたい。

議員

私は、60歳から70歳代が中心になって、甲佐町の農業をやっておられる現状に、是非、支援策を考えていただきたい。

人・農地プランの状況をどう踏まえているのか、また、町として支援策等を考えているのか。

町長

町としてどうするのかという質問ですが、プランを進めていく中で、一番問題となるのが、後継者がいないということ、労働力の低下が一番心配される。

また、将来的には耕作放棄地等が増え、農地が減り、食料の自給率の低下にも繋がるので、町としても何らかの対応を講じなければならぬ。

将来のまちづくり

議員

甲佐町のまちづくりについて、町長の新マニフェストの取り組み状況を聞きたい。

町長

新マニフェストにつきましては、2期目の町政執行に当たり、まちづくり4本の柱のもとに、33項目の政策目標を掲げ、1年6ヶ月経過したが、新年度予算で計上したものの、あるいは、事業を制

度化し、実施予定の施策が33項目のうち13項目が39.4%、施策の一部実施・準備中が15項目、未実施のものが5項目となっている。

議員

各施策について聞きたい。まず、災害時を想定した乙女地区の水道水源の確保は。

町長

この件については、宮川議員をはじめとして、議員のみなさんからもご指摘を頂いた案件と認識している。

今回、新年度において、乙女地区の第4水源の試験井戸の工事費を計上したところである。

議員

職員の資質向上で、国・県との人事交流や職員の派遣をやっておられるが、状況を聞きたい。

町長

職員の資質向上に関し、

国あるいは県との人事交流は、非常に大きな有効な手段と考える。平成23年度は、2年契約で本町の職員1名を県に派遣していた。平成25年度については、新に県と町との相互交流が内定したところである。

それに、職員の中でも、専門的知識を有する必要性を感じている。

従来は、一般枠での採用であったが、25年度は、社会人枠を設けて民間での企業経験、あるいは、専門的知識を有する方の募集を行い、一般枠3名、社会人枠3名の6名の採用を行った。



将来を担う子どもたち

緒方哲哉 議員



ら7千数百万円の繰り入れがあった。

議員

平成24年度、多額の基金繰り入れされた要因を聞きたい。

町の財政状況は

議員

ここ数年、一般会計の財政調整基金の取り崩しはなかったと思うが、どのようになっているか。

また、平成24年度補正で、3億8000万円以上計上されている。過去において、高額の繰り入れがあったのか。

企画財政課長

平成22年度・23年度は、基金からの繰り入れはしていない。

また過去10年間では、平成19年に9476万円が最も多い繰り入れで、近年は、3000万円か

事業実施が必要と思うが、町長の見解を。

町長

今回、基金から高額の繰り入れの要因は、一般会計から国保特別会計への法定外繰り出しであり、今後、国保財政の安定運営が実現に出来るよう考えている。

道路改良について

議員

町道上揚井戸江線改良工事の事業区間の全体計画が知りたい。

建設課長

井戸江峡キャンプ場までを1工区、工期が27年度まで、総延長260m、国の社会資本整備総合交付金事業で実施しており、総事業費7億550万円。また、2工区の旧宮内小学校まで延長500m、その中で第2橋脚110m、幅員歩道なしの6m、概算事業費約7億800万円と試算しており、

3工区として小鹿集落まで380m、概算事業費5400万円を計画している。

議員

1工区で幅員8m、内2mが歩道であるが、2工区では歩道なしの6mの根拠は。

建設課長

キャンプ場から緊急避難場所(宮内集会所)もあるので、歩道を計画した。

議員

この事業は、県道のバイパス的なことも考えられる。そこで、県の事業で行う場合と町の事業での負担割合はどうなっているか。

建設課長

現在、国の交付金事業を活用して行っており、交付金補助残については、過疎債を充当し、その約7割が交付税措置され、残りの約3割が町負担となる。

また、県が事業する場合は、国庫補助を除き県負担額の15%約7900万円となる。

議員

町が事業主体の場合、1工区・2工区合わせ7900万円負担増になるなら、県道のバイパス要素もあるので、事業主体を是非とも県に要望してもらいたい。

町長

県道3本松甲佐線は、一般道としての位置づけであり、非常に厳しいと思う。

九電の拡張工事に関連した町道として整備をしているので、町の考え方を十分説明しながら要望していきたい。

町営住宅の低所得者への配慮は

議員

低所得者への減免措置制度を利用した入居者への軽減を考えてもらいたい。

建設課長

町営住宅家賃等の減免及び徴収猶予事務取扱要領は定めてあるが、現在までは適用されていない。平成25年度から適用したいと考えている。



町道上揚井戸江線改良工事



立岩団地

荒田 博 議員



緑川を利用した
まちづくり

議員

前回、町内において緑川の河川敷を利用したまちづくりはできないかと質問したが、今回は、その中でも安津橋上流の河川敷利用について聞きたい。



安津橋上流

町長

本町としては、これまで緑川リバーサイドin甲佐等に代表される様々な構想上に立って、整備の検討がなされ、河川の整備規制や財政面において、一部の実施にとどまっているのが現状である。

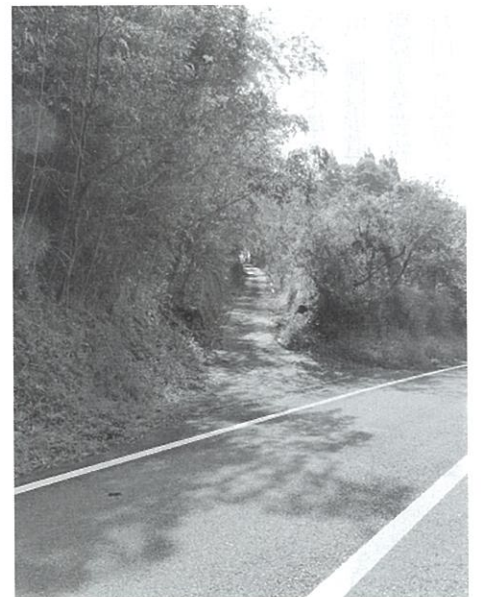
緑川の河川空間の中でも整備可能な箇所を洗い出し、どのような取り組みによって実現化していくのか、企画財政課の重要課題として関係団体との研究を行うよう指示している。

安津橋上流においても同様の検討を行っており、本町において、どういう制度活用が一番望ましいか見極めなくてはならない。町として緑川の河川流域を生かすということ、そのエリアだけでとどまるかもうちよつと広げるか、そのあたりの見極めも、今後、町としての判断を決定していきたい。

広域農道から鴨山
方面の道路改修は

議員

広域農道から鴨山方面の道路改修について、尋ねる。



農道井尻竹迫線

議員

今この農道の先に企業がメガソーラーの建設を予定していると聞いていますが、町有地もあり、町としてこの農道を町道として整備したらどうか。

町長

太陽光発電の計画については、相談というか話は伺ったが、実質的な計画書が町の方には提出されていない。今の段階においてはどのようにするとは申し上げにくいと考える。

産業振興課長
農道井尻竹迫線は、御船町、甲佐町との町境にある農道で、幅員が2.5m、延長が930m。広域農道から約300mはアスファルト舗装、残りは砂利道となっている。農道は集落で管理されているものであり、集落からの要望であれば、原材料、重機借上げ等で対応していきたい。

火葬場の建替えは

議員

火葬場の耐用年数は後2年しかないが、来年度から広域で協議会が進められると思うが、現状の考えをお聞きしたい。

町長

火葬場においては、建設後長期を経過しており施設が老朽化したこと、現代人の御遺体の体格に対応できないといった課題もあり、今後の施設運営のあり方について方針を決定しなければならぬ時期にきている。

そういつた状況の中で、当衛生施設組合、それと益城、嘉島、西原の環境衛生施設組合、御船地区の衛生施設組合。

この3つの一部事務組合の広域化に向けた勉強会が昨年から行われ、本年4月より、仮称であるが熊本中

央広域事務協議会を設置し、一般廃棄物広域処理基本方針を定めること。それから一般廃棄物の広域的な処理の調査研究、一般廃棄物の発生抑制、資源化と適正処理、最後に一部事務組合の統廃合に関するなどを協議していく予定で、その中に火葬場の広域的な処理に関することも明示していきたい。



老朽化した火葬場

井芹 しま子 議員



内水調査後、対策事業は進んでいるのか

議員

近年の度重なる豪雨による被害を受けて、2年前に内水調査が業者に委託され、対策事業案も提案されている。その後、事業検討は進んでいるのか。

建設課長

現在、課題の解消に向け国交省熊本河川国道事務所に要望活動や意見交換会を行っている。その結果として、馬門川の排水がスムーズに緑川に流れるよう改良した。全体の事業は非常に高額であ

り、現在、有利な補助が受けられるよう調査研究を行っているところである。

馬門川流域の災害対策は

議員

長年、大雨となると馬門堤の決壊の不安に下流住民はおびえてきた。また、大雨となると美里町堅志田より流入する水が馬門川に合流し、それが町道を乗り越えて田畑や家屋に浸水被害をもたらしている。馬門川流域の住民の安心安全を守る為

にも、馬門堤の排水口の改善、町道整備を急ぐべきではないか。

建設課長

馬門堤の排水口については栓の改良工事について検討している。下流の町道整備については、地権者の同意書を添えた上で要望書を出していただき、策定委員会で検討していきたい。

新しい公共交通手段の整備計画は

議員

高齢化の進行は周知の通りだ。特に一人暮らしや高齢者世帯の移動手段の確保は、高齢者の方々の暮らしや自立、健康を守る上で重要な課題だ。早急な研究が必要では

福祉課長

現在、一人暮らしの高齢者は437名、高齢者世帯は719人となっている。将来において本町も地域公共交通の見直しが必要な時が来ると考えられるが、今のところ、介護保険や障害者福祉制度、老人ホームへの入所など今ある制度を活用してほしいと考えている。

の暮らしや自立、健康を守る上で重要な課題だ。早急な研究が必要では

議員

大半の介護保険を使えない方々の自立した暮らしや健康をどう支えるのかと云う視点だ。

町長

新たな交通システムの構築については、やはり念頭に置いた上で検討が必要だと考える。

高校3年までの医療費無料化は

議員

こども医療費無料化制度は、今や高校3年生まで広がるようになっていて、国は今年から子育て世帯の負担を重くしており、それに伴い、町は2千万円以上の増収になっている。町は、この増収分を子育て世帯に還元し、医療費の無料化を高校3年生まで広げてはどうか。

町長

子育て世帯の経済的負担軽減の為に実施していることも医療費助成制度だが、国保の運営状態を考えると、今のところ考えていない。

へ入所しているが町内の保育所に入れないからではないか。

福祉課長

3月1日現在、待機児童は2名であるが、4月1日には解消する見込みである。また、町外への入所は主に通勤経路、職場が町外と云う理由によるものである。

議員

町内の保育園とも各60名の定員をはるかに上回っているが、国の基準、保育環境等問題はないのか。待機児童対策は。

福祉課長

5園については園児の受け入れに大変ご努力いただいている。各園では保育士の数、施設の広さがあり、受け入れの為に保育士の雇用、施設の増築など、経営に直接影響する問題であり難しい問題だ。現在のところ、今の5園体制で受け入れをお願いしたいと考えている。

待機児童対策は

議員

118世帯が町の定住促進事業を利用して新築されている。待機児童は出ていないのか。また、30名近くが町外の保育園



馬門の堤

傍聴席から一言

温故知新

上卓川 栗林 大八

古きをたずねて、新しきを知ってみようと思う。

古きは、いつ発生するか予測がつかない大災害等の財政出動に備えておくべき積立金の財政調整基金が、目標レベルの15億円に届かない7億円まで落ち込む不調ぶりから財政運営に悩まれた古き時代もあったと聞く、それが、今では目標レベルにあると聞く。

また、古きは、各年度の最終予算額も50億円程度だった町の財政レベルも、70億円レベルに到達するまでに実力をつけていると聞く。

古きは、プレハブ造りの役場庁舎に、耐震性に問題ありの小学校舎、中学校舎が、今では近代的な建物に生まれ変わり、満足いく公共施設や教育施設に変わってきた。

また、国・県道、町道も整備が進むことで、インフラ整備が大きく前進し、今では交通の便も飛躍的に良くなった。

温故知新の題材は他にもあろうが、ここまでにしよう。

すべては様々な外なる要因の情勢が、今、好転しているばかりではなく、町長と議会がスムーズに機能する町政運営の内なる要因の情勢が、今、好転していることが、今の私たちに幸せ感を醸成しているのではあるまいかと、古きと、新しきに、隔世の感を抑える事ができない。

平成25年第1回臨時議会

工事請負契約の変更について

・町道松ヶ崎妙見谷線道路改良工事(1工区)

136万2484円増の

1億688万7484円

変更工期 平成24年9月20日から

平成25年4月15日まで

・町道上揚井戸江線(仮称)井戸江峡橋P1橋脚工事

332万673円増の

8417万673円

変更工期 平成24年9月20日から

平成25年5月10日まで

とする契約変更を原案のとおり可決した。

平成24年度甲佐町一般会計補正予算(第6号)

8554万3000円を追加し、

歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ、72億6779万4000円とする補正予算を全会一致で可決した。



改良が進む町道松ヶ崎妙見谷線

編集後記

新緑の候、町民の皆様には健やかにお過ごしのことと思います。

ここ数年、田畑を眺めますと麦が栽培されています。

経営所得安定対策の二毛作助成の対象になっているためでしょうか。

政策誘導による所が大であると思うところです。

さて、国論を二分するTPPの問題が正念場を迎えています。

政府与党は参加の方で動いているように見えます。

自民党幹部から農家所得倍増計画なるものも聞こえてきます。なんだか、ウルグアイラウンドを思い起こします。

町の基幹産業であるだけに、注視しているところです。

もつと国会で議論し、もつとマスコミを通じて国民に見えるようにしてほしいと思います。

議会広報、本年度も町民の皆様にご愛読していただきたく頑張っていきたいと思います。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本郷 昭宣
- 副委員長 井芹しま子
- 委員 西坂 和洋
- 委員 福田 謙二
- 委員 荒田 博